

**ごあいさつ** 今年は長雨の後には暑い日が続きましたが夏の疲れは出ていませんか？ 恵みの秋を向かえ我が家も無事に稲刈りが済みました。今号では桃やぶどうを栽培されているご両親を助けるため大和町でのマイホーム作りをされた佃(つくだ)さま新築工事のいきさつから紹介してまいります。



## 一期一家

いちごいちえ

三原市 大和町

佃さま邸新築工事 vol.1

### きっかけは？ 最初の出会いはどうでした…？

マイホームを検討し始めた頃、メーカーの展示場を見に行ったりしていましたが、地元の知り合いが小倉建設さんで家を建てたのを知っていました。当時、家を建てるのは初めてで不安もあり、一度相談したくて思い切って電話しました。専務さんとは地元の付き合いでもお会いしており、気さくに話が出来る方で、分からない事など安心して相談もでき、お任せできると感じたので依頼する事にしました。



私の弟の同級生であり、地元の繋がりで知り合いだったとはいえ、顔見知り程度だったので、電話をいただいたときはとても驚いたのを覚えています。

奥様にとっては大和町は住み慣れない土地。きっと不安もお持ちだと察します。そのような状況で我々にできる事は住まいを通じて「住んでいてワクワクする」「家に帰りたくなる」そんなマイホームをご提案する事です。設計・施工において様々な専門のプロと小倉建設チームとなってサポート致します。

### 01 お話を伺って分かった事

- ① 現在竹原のアパートに住んでいるが桃園をしている両親を少しでも助けたいので、実家の側に帰ってあげたい。
- ② 田舎でも家族が楽しめる住まいにしたい。
- ③ 建てるなら風水が気になるので、こだわりたい。(奥様)

### 02 その建設予定地を拝見して

Uターンを喜ばれたご両親から譲り受けた土地 (桃園の一角☆)



矢印の方向に斜めに下がっている敷地

#### 佃さまの想い

- 1 祖母の植えた柿の木を残したい!
- 2 生まれ育った場所の景観(環境)を壊さず、田舎に住むのだから、その場所できれいな自然を感じる住まいにしたい。



#### そこで 提案させていただきました☆

- ① 土地の造成で柿の木を伐採したり、斜面を削ったりしなくても自然の地形を生かした家づくり
- ② 常識に縛られないお客様の目線に合わせた、世界に一つしかないプランを一緒に考えましょう☆

山に囲まれた田園風景。気になったのは敷地全体が斜めに傾斜しています。これは元々山だった地形だからとの事ですが、通常は地面を平らにするために造成工事を行います。この敷地の場合、通常ですと造成費用は200万円以上かかります。

### 専務の同級生 設計士の「小玉志帆」さんとコラボしました



皆さんこんにちは☆実は専務さん(以下オグ)とは学生時代の同級生、共に建築を勉強しておりました。学生時代はまさかこんな形で将来オグとコラボする事になるなんて夢にも思いませんでした。私も色々な建設会社さんから依頼を受け設計をしてきましたが、小倉建設さんは大工さんの手仕事丁寧で任せて安心な工務店さんだと思っています。

約20年前の学生時代の専務(左)と小玉さん(右)



小玉さんの凄腕は、自分が住む人になりきってワクワク妄想しながら(笑)、どうすれば快適で楽しい家になるか考えてくれます。誰でも思いつく間取りでは無く、限界を超えて無限に広がる空間作りをする提案は、今までのお施主様にも大好評です。傾斜している難しい建築条件だからこそ、佃様のワクワクしちゃう家作りを小倉建設チームとして進めるべくコラボしました☆



ナイスアイデア!

### 03 打合せを進めるうちに…

造成して平らな土地にするのではなく、傾斜した土地のまま、その地形に合わせた家をプランした結果、家の1階部分に段差を設けた間取りになりました。しかし段差のある家は施工技術が求められますがここからが我々小倉チームの腕の見せ所です。

小玉さんからアドバイス

敢えて**段差のある家を提案**しました。理由は段差があると目線にも高低差が生まれ、空間がより広々と豊かに感じる事が出来ます。お子さんが家の中を走り回るとても楽しいお家になりますよ☆

間取り打合せの様子。残念ながら小玉さんは後姿ですが、段差のある間取りに段々ワクワクしてこられた佃さまご夫婦☆

奥様のこだわりポイント!

段差があると老後の心配は？

大丈夫です、仮に車椅子生活になっても不自由なく過ごせるよう設計しております。段差の無い部分で生活の全まが行える間取りにもなっています。(詳しくは次号以降の完成の様子で紹介いたします。お楽しみに)



抜かりなくチェック!

家の中の段差の様子をイメージ写真と共にご提案



### OGURA'S 3代目のちょこっとコラボ

### 田舎あるある、土地のビックリ情報!!



畑や田んぼがある地域では、その土地の地目が「畑、田、山、雑種地」という事が珍しくありません。その場合「宅地」に変更する手続きを行います(農地転用)。そして他にも「**農用地区域内の農用地等除外申請**」が必要になる事があります。(農振除外とも言います)  
**なんと、その申請受付は年にたった3回しかありません!**ビックリですね。申請できるタイミングが4ヶ月に1度だけなんです。早く家を建てたいと思っても申請許可がおりるまで、ただ待つしか出来ません。田舎で家を建てる際はその辺も要チェックですね。佃様の建設地も該当地域でしたので許可申請に数ヶ月かかりました。

自分の土地なのに好き勝手出来ないなんて私もビックリ。家を建てると、人生に似てる? 思いがけない事があるよね…専務は家づくりを通して、人生に寄り添ってるんだね。



小倉建設では家を建てる前にその辺の下調べも全て行ってあります。ご安心下さい。



一級建築設計事務所  
**(有)小倉建設**

TEL:0847-33-1566  
FAX:0847-33-1588

〒729-1405 広島県三原市大和町上徳良 4015  
E-mail:ogu-ogu@mail.mcat.ne.jp

ブログ 更新中!  
三原市 3代目専務 検索

ホームページはこちら!  
三原市 小倉建設 検索